

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和5年度～令和7年度）
研究開発課題名	アロステリックにタンパク質-タンパク質相互作用を阻害する induced-fit型小分子の創出
代表機関名	大阪大学
研究開発代表者名	鈴木 孝禎

総合評価：優れている

【評価コメント】

本研究は、複数の標的分子に対する induced-fit 型 PPI 阻害剤候補の選定を進めるとともに、うつ病モデルマウスを用いた検証において行動学的改善効果を確認し、その作用機序についても明確化した点が評価できる。また、本阻害機構を視覚的に示したことは興味深い成果であり、作用機序の理解及び創薬研究の発展に資するものである。

企業連携も進められており、今後は有効性・安全性のさらなる検証に加え、知財戦略も含めた開発を推進し、実用化に向けて研究展開されることを望む。

以上